

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	年次	3～4	単位数	4
使用教科書 (副教材など)		Amity English Communication Ⅱ (開隆堂)					

学習目標	1 言葉、文化、民族の多様性とその共存、自然と人間との共生を国際社会の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神を育成します。 2 聞いたり読んだりしたことについて、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養います。 3 学習を通じて、世界の様々な文化に触れ、違いを認め合える心と態度を養います。	
評価の観点	① 知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できる技能を身に付けている。
	② 思考力・判断力・表現力	日常的な話題や社会的な問題について、英語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、それらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けている。
	③ 学びに向かう力・人間性等	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手などに配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けている。
評価の方法	定期考査に加え、提出物（学習プリント、ノート等）、小テストの成績などで総合的に評価します。また、授業態度や参加姿勢に加え、思考力・判断力・表現力を総合的に評価します。	

	単元	学習内容
前期	1 Lesson 1 Okinawa	・沖縄の魅力について理解します。 ・現在のことを表現する言い方について学びます。 ・「～できる」などの言い方（助動詞）を理解します。
	2 Lesson 2 The History of Japanese Food	・古代から現代への日本食の発展について学びます。 ・過去のことを表現する言い方について学びます。 ・「～すること」の表現方法について理解します。
	3 Lesson 3 Volunteer Work	・「～すること」「～するため」などの言い方について学びます。 ・「～される」の表現方法について理解します。
	4 Lesson 4 Gacha-gacha	・外国人から人気があると思われる日本文化について学びます。 ・「(人) に (もの) を～する」という表現を理解します。
	5 Lesson 5 Interesting Aquariums	・「～することは…だ」の表現方法について理解します。 ・代名詞が指している部分について考えます。
	6 Lesson 6 The Relay of Ahmed's Life	・国際社会における平和について考えます。 ・「～するのを見る」の表現方法について理解します。 ・前置詞の使用方法について学びます。
後期	7 Lesson 7 Artificial Intelligence	・AI ロボットと人間の関係について考えます。 ・「～のとき」「もし～ならば」の表現方法について理解します。 ・「～のために」という言い方について学びます。
	8 Lesson 8 The Mystery of Colors	・色の持つ力について学びます。 ・過去からの継続や経験を表現する言い方について学びます。
	9 Lesson 9 Street Performers	・「～している…」「～された…」という表現について理解します。 ・文章を短く表現する方法について学びます。
	10 Lesson 10 The Culture of Selfies	・自分を表現する方法について学びます。 ・「～する…」などの言い方について理解します。 ・「(ちなみに) ～ですが」などの言い方を学びます。
	11 Lesson 11 Finland	・フィンランドと日本の関係について学びます。 ・「～な…」「～する…」の言い方について理解します。
	12 Lesson 12 In Order to Live A Happy Life	・「もし～ならば、…だろうに」の表現方法について理解します。 ・別の人・生き物になったつもりで気持ちを表現する方法を学びます。